

## 特別委員会開催のおしらせ

特別委員会が開催されます。どなたでも傍聴できます。  
委員会の傍聴手続きは市役所本庁舎7階の議会事務局にお越しください。

### 地域活性化・生活環境向上特別委員会

5月20日(月)午後1時30分 議会第2委員会室

#### 【報告事項】

- 川口総合文化センター大規模改修及び美術館建設事業等について
- 川口市路上分煙基本計画の改定について
- 神根運動場周辺整備事業について

### 保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会

5月21日(火)午前10時 議会第2委員会室

#### 【報告事項】

- 保健所における精神保健事業の取り組みについて

### 未来創造・教育力向上特別委員会

5月21日(火)午後1時30分 議会第3委員会室

#### 【報告事項】

- 英語教育について
- いじめ根絶に向けた取り組み状況について

### 都市基盤整備・危機管理対策特別委員会

5月23日(木)午後1時30分 議会第2委員会室

#### 【報告事項】

- 橋りょう長寿命化事業について
- 芝中央沿道第2土地区画整理事業について



## 知<sup>っ</sup>得<sup>得</sup>情報 < ご存じですか？

### 川口市消費生活相談窓口

消費生活センターにご相談いただく際は、まずはお電話をいただきますようお願いいたします。来所を希望される場合でも、電話にて相談員と日程調整してからご来所ください。事前のお電話なくご来所いただくと、相談員の状況によってはすぐに対応できない場合があります。また、相談内容によっては関連資料がないと対応が難しい場合もありますので、事前にお電話で相談員に相談内容等をお伝えいただいたうえでご来所いただくとスムーズです。

消費生活センターでは、消費生活に関する専門知識をもった相談員が、消費者問題について解決のお手伝いをしたり、助言や情報提供等を行っています。

相談の電話をかける前に、あらかじめ時系列を整理したメモ等を準備していただき、整理して伝えられるようにしておく効果的です。約款・契約書、きっかけとなった広告やパンフレットなどの関係書類をできるだけ集めておいてください。インターネットが関係した案件では、メールや注文画面、確認画面のスクリーンショットなど保存してあれば、見られるようにしておいていただくとスムーズにご相談いただけます。しかし、案件によっては1日でも早い対応が有効な場合もあります。

**問** 相談する際は、どうしたらよいのですか？

**答** まず川口市消費生活センターに電話してください  
電話048-258-1241

**問** 相談日時は？

**答** 月曜日から金曜日(祝祭日・年末年始を除く)  
午前9時30分から12時、午後1時から4時までとなっています

**問** 川口市消費生活センターはどこにあるの？

**答** 川口市役所第一本庁舎2階3番窓口です

# 新川口

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2024年5月19日 No.1744

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

5月9日に日本共産党川口市議団は川口市議会の川口新風会、川口青嵐会、川口維新、れいわ新選組の超党派の議員有志とともに埼玉県立越谷特別支援学校を訪問し、視察してきました。



## 埼玉県立 特別支援学校 を訪問

訪問時間は、午前中の授業の終了時間で、ちょうど給食の時間でした。学級によって給食までの時間を子どもたちの休息時間にあてたり、給食準備や食事をする子どもの様子、また学習する子どもたちと接することができました。給食は校内で調理され、きざみ食やペースト食への対応もされています。



校内で調理された給食▶

特別支援学校は、特別支援学級よりも教員の配置基準が手厚く、食事の介助を必要とする子どもたちへの対応も教員一人に1~2人であたられていることが多い印象でした。

気管切開や痰吸引が必要な子や導尿・経管栄養などの医療的ケアが必要な子への対応もケアルームに看護教員が複数おり、昼

食時などは近隣の訪問看護ステーションと連携しているとのこと。教員も一部ケアができるような研修と資格があり、一人一人に安全に丁寧なケアを実施していました。



◀ケアルームで子ども達への医療的ケアも実施

一方で通学時の医療的ケアへの対応が十分でないため通学バスでは通えないケースや、保護者の送迎や福祉タクシーの利用が必要な場合もあり、通学が難しい場合には訪問教育も実施されています。通学に1時間以上の時間がかかることもあり、学校に行くことを望む子どもたちが安心して通学できる肢体不自由児の特別支援学校を川口市内にのぞむ関係者の声や運動もあります。

日本共産党川口市議団も、一人一人の子ども達にあった教育と生活を進める学校現場の努力と保護者の思いに応えることができるように、引き続き学びながら声を届けていきます。

# 肢体不自由の子どもたちの 教育と生活を支える現場から学ぶ

埼玉県立越谷特別支援学校は昭和52年に開設された肢体不自由児の特別支援学校です。川口市役所から1時間超の場所にあり、小学部から中学部、高等部の3学部があり、障害や発達に応じた一人ひとりに対応した教育を行っています。

今年度の児童生徒数は225名(小学部108名、中学部59名、高等部58名)で、全国的にも多数の子どもたちが在籍する大きな特別支援学校です。

広い敷地に、すべて平屋の校舎が広がっています。

◀▶▶  
校舎の廊下は車いすなどが複数台通れる幅が確保されています

